

体験!

本の好き嫌い関係なく楽しめます!あまり本を読まない人も、ぜひぜひ参加してみてください!

直観読み~本と人との新しい出逢い方~ ブックメーカー

「直観読みブックメーカー」とは、参加者の直感や偶然で見つけた本の一文が、意味をもった「答え」になっていくという、不思議で知的、そしてとても楽しいゲームです。文章の深読みや妄想が面白く、趣味や世代の違いを超えた交流も楽しめます。

とりあえず何も考えず、何も持たず気楽に参加してみてください!

(情報・図書コーナーの本を使います)

講師：陸奥 賢さん

観光家/コモンズ・デザイナー/社会実験者。1978年大阪生まれ。ライター、放送作家、リサーチャーなどを経験。「大阪七墓巡り復活プロジェクト」「まわしよみ新聞」「直観読みブックメーカー」「当事者研究スゴロク」「歌垣風呂」「劇札」などを手掛ける。應典院寺町倶楽部専門委員。著書に『まわしよみ新聞のすゝめ』。



12月20日(木) 13:30~15:30

- 対象：テーマに関心のある人 40人
- 申込み：電話、窓口、センターHPから受付 ●参加費：無料
- 保育：10人(1歳から就学前まで) 無料 要予約

主催 宝塚市立男女共同参画センター・エル

宝塚市指定管理者

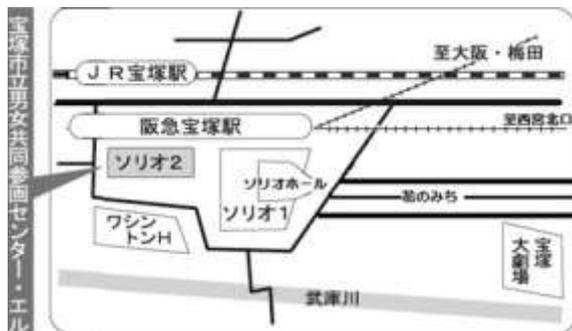
NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

電話：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424

<http://www.takarazuka-ell.jp/>

(駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください)



※申し込みにあたってお預かりする個人情報は本講座以外の目的で使用することはありません。

放送作家からライター、まちあるきプロデューサー、果てはコモンデザイナーと観光家…という異色の経歴を持ちながらも、常に「人と人との場づくり」に取り組んできた陸奥賢さんが、2012年に発明した“新聞あそび”、「まわしよみ新聞」。



まわしよみ新聞をつくらう！
陸奥賢／創元社／2018.6

あるお寺でのワークショップ用に考案され、その後もミナミのカフェで細々と継続していた「まわしよみ新聞」ですが、

- (1) 人と新聞さえあればいつでもどこでも誰でもできる手軽さと、
- (2) 初対面の人とでもためらいなく話し合えるオープンな雰囲気、そして
- (3) 相手の隠れた価値観を知ったり、自然と情報リテラシーやコミュニケーション能力が身につくという意外な奥深さ

を兼ね備えるコミュニケーション・ツールとして、各地でハマる人が続出。

著者が「誰でも好きに実施してよい」オープンソースとしたことで、その活動は全国に波及。北海道から南は沖縄まで、さらには海を越えて台湾、ポーランドなど海外でも実施されています。

その汎用性から、人々が集まる公共施設やコミュニティ・スペースはもちろん、幼稚園から大学まで各種の教育現場や、企業の研修などにも導入されており、2017年にはその教育的効果が評価されて、第66回読売教育賞 NIE 部門最優秀賞を受賞しました。

この本は、著者が2014年に自主制作した指南書『まわしよみ新聞のすゝめ』を大幅に改訂。創刊以来ますます広がり多様化をみせる「まわしよみ新聞」のつくり方と効果を、国内外のユニークな実践例を交えながらわかりやすく解説する「まわしよみ新聞」入門書です。

<まわしよみ新聞のつくり方>

- (1) みんなで新聞を持ち寄ります。(2) それぞれ新聞を読んで、気に入った記事を切り抜きます。
 - (3) どうしてその記事を選んだのか、グループ内でプレゼンし合います。(4) グループ内で決めた編集局長を筆頭に、集めた記事を模造紙に貼り合わせ、コメントやイラストを書き入れていきます。
 - (5) 編集局長が題字を書いて、新たな壁新聞の完成！
- (おまけ)新しくできた壁新聞を人目につくところに掲示します。「新聞にこんな記事載ってるの?」「このニュースをこんなふうに読み解くなんて!？」参加しなかった人が後から読んで面白いんです。